

あいサポート♡
メッセンジャーに聞く

進木 紀子 さん

倉吉市障がい者地域生活支援センターはっぴい 相談支援専門員



双方に運動広げ、 地域共生社会目指す

あいサポートメッセンジャーになっただけのきっかけを教えてください。

障がいのある人もない人も暮らしやすい共生社会を目指す「あいサポート運動」が2009年に鳥取県で始まり、その主旨に賛同してあいサポーター研修を受講しました。障がいのある人の相談支援専門員として働いていますが、障がいに対して正しく理解されていなかったり、周りの協力があればいいのと感じることが多々ありました。10年、あいサポートメッセンジャーの養成研修があり、あいサポート運動を啓発することが今の自分にできる役割ではないかと強く感じ、メッセンジャーになりました。

日頃、あいサポート運動、あいサポーターについてどのように感じていますか。

あいサポートバッジをつけている人や、あいサポート企業に認定されたステッカーが張ってある企業

をよく目にします。先日、飲食店であいサポートバッジをつけた店員さんが、障がいのある人に丁寧に対応されている姿を見てとても温かい気持ちになりました。決して障がいを特別視することなく、自然体で関わる。何げない気配りや優しい言葉かけが当たり前に見える。これはあいサポート運動の効果ではないでしょうか。こんな姿が地域のあちこちで見られるようになったら、障がいの有無に関わらず、みんなが暮らしやすい街になりますよね。そんな地域をあいサポート運動を通して作っていただけたらと思います。

活動の中で苦労したことはありますか。

ハートフル駐車場に障がいのない人が駐車していたり、点字ブロックの上に自転車が停めてあったりする光景を目にすると、障がいに対して十分理解されていないと感じます。あいサポート研修を受けて

も日常生活に生かすのは難しいのかもしれませんが、一歩踏み出す勇氣を持って行動に移してほしいと思います。

あいサポートメッセンジャーとして大切にしていること、伝えたいことは何ですか。

福祉サービスやさまざまな制度を利用して生活は豊かになりません。やはり、一番近くにいる隣近所の住民や「元気？」と声をかけてくれる地域の人、困ったときに「何か手伝いましょうか」と手を差し伸べてくれる人たちの支えは不可欠です。1人でも多くの人にあいサポーター研修を受けてもらい、障がいに対する理解や関わり方を知っていただくことで、共に分かり合い、支え合うことができると思います。1人の力は小さいですが、みんなが同じように考えたら地域の大きな力になると思います。



▲学生を対象にした「あいサポーター研修」

今後の展望

県内外にあいサポート運動が広がっていることをとてもうれしく思います。今は障がいのない人への啓発活動ですが、障がいのある人の中にはあいサポート運動のことを知らない人もたくさんいます。今後は双方にこの運動を広げ、地域の一員として共に生きる社会を目指したいと思います。